



北区立浮間中学校 学校だより

令和5年7月14日

第4号（7月号）

文責

校長 奥村 宏

◆特別支援学級宿泊学習 6月26日（木）～6月30日（金）

昨年度は、6校合同で2泊3日の宿泊学習でしたが、今年度は、飛鳥中学校に特別支援学級が設置され学校数が増えたため、前半と後半に分かれ、それぞれ1泊2日の宿泊学習となりました。

【1日目】

8：00 学校を出発。途中で飛鳥中学校の生徒たちを乗せて、成田国際空港近くの航空科学博物館の見学をしました。ボーイング747（ジャンボジェット）のエンジンや胴体断面は迫力がありました。野外展示コーナーでは、大小20機ほどの航空機が展示していました。展望台からは、海外へ飛んでいくジェット機が離陸していくところが見えました。大きなエンジン音は、全身に振動を感じました。



夜は、キャンドルサービスを行いました。浮間中の担当は、レクレーションの司会でした。他の学校の生徒が楽しく参加しているのを見て、司会をしながらも楽しめていたようです。

【2日目】

生徒が楽しみにしていたマザー牧場の見学は、牛の乳搾り体験から始まりました。怖くて牛に近寄れない生徒もいましたが、中には、大胆に搾っている生徒もいました。羊の毛刈りやシーブドックショーでは、外国人スタッフの手際の良さやしつけられた犬に感動していました。マザー牧場を出発する間際には、ソフトクリームを買いたいという生徒がいて、私もイヤイヤ付き合っていました。



◆2年東通村職場体験 7月5日（水）～7月8日（土）

東通村での職場体験は、4年ぶりの実施となり、4名の代表生徒が3泊4日の職場体験を行いました。初日の漁業体験では、ハプニングが起きました。「ホタテから貝毒が見つかり、出荷停止になりました。」とのことで、急ぎよ販売店の撤収作業を手伝うこととなりました。2日目は、昨年から冷凍してあったホタテを使い、佃煮を調理することになりました。味付けをしてホタテを煮詰めるほどに、ホタテのおいしい匂いがしてきました。「味見をしてごらん。」と言う天の声が聞こえ、何回も味見をする生徒と私がいました。3日目は、肉牛の飼育についてお話を聞きました。東通村では、牛の繁殖から販売まで一貫して行っているとのことでした。出荷間近の牛を見て、「おいしそう！」とはとても思えませんでした。イチゴ農家での体験は、東通村の気候を生かして、季節はずれのイチゴを出荷している最中でした。

職場体験以外にも、尻屋灯台や原子力発電所関連施設（トンツウビレッジ）の見学、べこ餅作り体験をしました。

東通村との交流は、浮間中学校（10年前より）よりも先に浮間小学校（20年前より）で行っています。小学生が東通村の畑を借りて、ブルーベリーを栽培しています。ブルーベリー畑には、収穫を待っている完熟した実がたくさんありました。味見をすると止まらなくなり、知らない間におなかがいっぱいになっていました。ちなみに今回参加した4名の生徒は、全員西浮間小学校出身でした。

同じ時期に、2年生は浮間中学校周辺の事業所で職場体験を3日間行っています。職場体験終了後に各事業所の担当者から、「大変よく仕事をしてくれました。」とお褒めの言葉をいただきました。



村長室での記念写真
(畑中村長とかんだちくん)



ホタテの佃煮作り



牛舎にて



トントウビレッジ



北部海岸ジオサイト



べこ餅作り体験

◆土曜授業と東通村ホタテ販売 7月15日(土)

東通村の職場体験が中止となっている間、7月の土曜授業の日にホタテの販売を行っていました。保護者や地域の方からは、毎年恒例の行事となっています。貝毒の影響で、販売が中止になるかと覚悟は決めていましたが、東通村でも販売が再開され、浮間中にもホタテが届けられることが決まりました。漁港の人の話では、「ホタテは、3か所で育て、それぞれの場所で3年間育て収穫します。今年収穫する場所は、去年よりも小ぶりのホタテがとれる場所です。」とのことでした。新鮮なホタテは、食べるとシャキシャキします。うそだと思ったら、買って食べてみてください。でも、次の日のホタテは、ねっとりとして、これまたおいしくいただけます。

ホタテの販売の前に、保護者会が行われます。こちらぜひ出席してください。

◆編集後悔

- ・東通村の職場体験の夕食は、エビフライやハンバーグなど、中学生が好きそうなメニューでした。でも、昼食は、ホタテ、アワビ、ウニ、イカ、東通牛など、生徒と一緒に世話になった皆さんと地元の食材を堪能させていただきました。